



社団法人 日本コントラクトブリッジ連盟

〒160-0004 東京都新宿区四谷1-13 虎ノ門実業会館四谷ビル

TEL(03)3357-3741/FAX(03)3357-7444

http://www.jcbl.or.jp/ E-mail:info@jcbl.or.jp

2005年7月4日

報道関係各位

ブリッジのパシフィックアジア選手権、日本勢大活躍

ユース&シニア優勝！レディース準優勝！

6月24日から7月3日まで、韓国ソウルで開催されていた第43回パシフィックアジア・ブリッジ選手権において日本代表チームがユース部門、シニア部門揃って優勝、レディース部門も準優勝を決めた。ユースチームの国際競技会優勝は日本のブリッジ界で初めて。これにより、8月にオーストラリア・シドニーで開催される第10回世界ユースチーム選手権の出場権を獲得した。シニアチームは、2003年の第42回同選手権に続き2連覇の快挙、準優勝のレディースチーム、第4位となったオープンチームとともに本年10月末からポルトガル・エストリルで行われる世界選手権大会に臨むことになった。

パシフィックアジア・ブリッジ選手権は、1957年の第1回マニラ大会以来、参加各国持ち回りで毎年開催。日本は85年の第28回シドニー大会でオープンチームが、87年の第30回上海大会でレディースチームが初優勝し、98年には第38回大会が神戸で開かれている。今回のソウル大会には、オープン(性別・年齢の制限なし)、レディース、ユース(25歳以下)、シニア(56歳以上)各部門にアジア、太平洋地域から計12の国と地域が参加、世界選手権代表の座を賭けて10日間の熱戦が繰り広げられていた。

【第43回パシフィックアジア選手権 結果】

| | <u>ユース部門</u> (全9チーム) | <u>シニア部門</u> (全14チーム) | <u>レディース部門</u> (全10チーム) | <u>オープン部門</u> (全12チーム) |
|----|-------------------------|--------------------------|----------------------------|---------------------------|
| 1位 | 日本 | 日本(山田チーム) | 中国 | 中国 |
| 2位 | オーストラリア | オーストラリア | 日本 | 台湾 |
| 3位 | 香港 | 中国 | インドネシア | オーストラリア |
| 4位 | 台湾 | 台湾 | オーストラリア | 日本 |
| 5位 | シンガポール | 香港 | ニュージーランド | 香港 |
| 6位 | インドネシア | インドネシア | 香港 | インドネシア |

【日本代表チーム入賞者一覧】

| <u>ユースチーム(優勝)</u> | <u>シニアチーム(優勝)</u> | <u>レディースチーム(準優勝)</u> | <u>オープンチーム(第4位)</u> |
|-------------------|-------------------|----------------------|---------------------|
| ・田中秀悟 | ・山田彰彦 | ・島村京子 | ・宮国健次 |
| ・池本裕一 | ・大野京子 | ・福田尚子 | ・清水康裕 |
| ・牲川健志 | ・阿部弘也 | ・太田裕子 | ・中村嘉幸 |
| ・大手瑠利 | ・平田眞 | ・瀬戸口宣子 | ・陳大偉 |
| ・志賀元明 | ・井野正行 | ・関澤美穂 | ・古田一雄 |
| ・横井大樹 | | ・天野垂矢子 | ・河野誠 |

本件の問い合わせ先： 社団法人 日本コントラクトブリッジ連盟 (担当:高橋)

Tel:03-3357-3741 Fax:03-3357-7444 E-mail:info@jcbl.or.jp

以上